

■中里恒子 小説家。〔芸芸春秋〕同人に文を送るや掲載され、芥川賞から、芸術院恩賜賞まで、香り高い作品を書き続けた。

なかざとつねこ

伊藤博文暗殺1909＝ 神奈川県藤沢に生れる。呉服問屋吉田屋の次女。父は中里万蔵、母は保乃。本名恒。

明治天皇没・1912＝ 3歳：

本格政党内閣1918＝ 9歳：

原敬首相暗殺1921＝12歳：

水平社結成・1922＝13歳：横浜日枝小学校から山手紅蘭女学校に入学したが、

関東大震災・1923＝14歳：関東大震災で家も学校も焼失、川崎高等女学校に転校した。

女学校のころから文才を発揮し、

金融恐慌・・1927＝18歳：*〔芸芸春秋〕同人菅忠雄に写生文を送ると、〔創作月刊〕に「明らかな気持」、ついで「砂上の塔」が載った。やがて菅の紹介で永井竜男を知り、〔山繭〕にも発表。渡辺とめ子(大山巖の娘)主宰の〔火の鳥〕にも参加。

共産党事件・1928＝19歳：長兄の友人の弟である佐藤信重と結婚、大森に住む。結婚後一時執筆活動を中断していたが、世界恐慌・・1929＝20歳：長女圭子が生れ、逗子へ移ると、横光利一に師事。また横光の紹介で川端康成をも知り影響をうけ、〔作品〕に短編を書きはじめる。

満州事変・・1931＝22歳：

夫の兄嫁がフランス人であったため、恒子の作品には国際結婚や混血児をテーマにしたものが多い。

二二六事件・1936＝27歳：

日中戦争始・1937＝28歳：_〔芸芸〕に「物語風景」を発表し、

健保+総動員1938＝29歳：*〔乗合馬車〕を〔文学界〕に発表、芥川賞を受賞した。

大政翼賛会・1940＝31歳：「鷺鳥の花」「野薔薇」、

日米開戦・・1941＝32歳：「生きる土地」、

・・・・・1942＝33歳：「常夏」、

創価学会検挙1943＝34歳：「海辺の少女」、

敗戦・・・・1945＝36歳：戦後は、

新憲法施行・1947＝38歳：「まりあんぬ物語」から出発し、「春の鳥」「孔雀」「夕牡丹」、

朝鮮戦争始・1950＝41歳：「純潔について」、

独立回復・・1951＝42歳：_「挽歌」、

自衛隊発足・1954＝45歳：「若き葡萄」、

国連加盟・・1956＝47歳：離婚。「夜の橋」、

美智子妃・・1959＝50歳：_「天使の季節」。アメリカ人と結婚した娘と孫たちを素材に「鎖」を執筆、

安保闘争・・1960＝51歳：

TV宇宙中継始1963＝54歳：

日中国交回復1972＝63歳：「此の世」「閉ざされた海—中納言秀家夫人の生涯」、

石油ショック1973＝64歳：

角栄金脈辞任1974＝65歳：*「歌枕」で読売文学賞、

クランポール事件1975＝66歳：「花筐」「土筆野」「気のながい話」。_「わが庵」などで、芸術院恩賜賞を受賞。

田中角栄逮捕1976＝67歳：「朧草子」。宇野千代との「往復書簡」、

JALハイジャック・1977＝68歳：「ダイヤモンドの針」_「時雨の記」、

成田衝突・・1978＝69歳：「うつつ川」「誰袖草」、

革新大敗北・1979＝70歳：「仮寝の宿」「鶏の声」「百万」_「わが今昔ものがたり」、

貿易摩擦始・1980＝71歳：「南への道」。_「中里恒子全集」全18巻、

・・・・・1981＝72歳：「水鏡」、

中曽根内閣・1982＝73歳：「青い炎」「不意のこと」「家の中」、

・・・・・1984＝75歳：「関の戸」「鱗錦の局、捨文」、

ジャンボ機墜落1985＝76歳：「綾の鼓」。勲三等瑞宝章を受章。

竹下登内閣・1987＝78歳：「日常茶飯」「回転椅子」。*最後まで香り高い作品を書き続けて、没した。

「この人どんな人」、「日本の女性」、